

谷口中学校だより

# 鶴舞



令和6年度 第9号  
令和7年1月8日発行  
相模原市立谷口中学校

## 新年を迎えて

校長 はくた よしお  
白田 良雄

皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年のお正月は、能登半島地震と空港での炎上事故が続けて起こり、国内全体が心配な気持ちに包まれてのスタートでしたが、同時に、支え合うことの心強さ、他者に寄り添い思いを馳せることの大切さなども考えさせられました。私は4月に谷口中学校に着任して以来、生徒の皆さんが活動に真剣に取り組む姿、仲間と力を結集して目標に向かう姿をたくさん見ることができ、本当に充実した日々になりました。皆さんが頑張る姿を見ると、いつでも元気になります。

さて、3学期は、今年度の学びの集大成であると同時に、4月から次のステップに進むための「0学期」<sup>ゼロ</sup>でもあります。3学期の授業日数は51日（3年生は43日）です。1学期・2学期よりも短く、時間があっという間に過ぎていくかもしれません。それでも、生徒の皆さんは、3学期の終わりにはどのような自分でありたいかをイメージして、一日一日を大切に歩いていってほしいと思います。そのような皆さんを、学校をあげて応援していきたいと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、関係諸機関の皆さまにおかれましても、今年も変わらぬご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 部活動の主な結果

女子ソフトテニス部 相模原市1年生研修大会 団体戦 優勝

## 1月の生活目標 テーマ「決意」

新たな決意を持って実行することにより感動のある生活を目指す

## 1月の主な予定

- 8日（水） 始業式
- 9日（木） 最終下校が午後5時になります
- 15日（水） 専門委員会（3年生最終）
- 16日（木） 新入生保護者説明会
- 17日（金） 学校保健委員会（保健委員、生徒会代表）
- 20日（月） 一斉下校
- 22日（水） 代表委員会（3年生最終）
- 23日（木） 校服リユース品譲渡会（新入生対象）
- 27日（月） 一斉下校
- 29日（水） 学級プログラム委員
- 30日（木） 小中一貫の日（昼食なし、一斉下校）



白鳥と富士（冬休みに撮影しました）

※ 裏面に保護者の皆さまに向けた相模原市教育長の年頭メッセージを掲載しました。ぜひお読みください。



保護者の皆様へ

教育長年頭メッセージ



## 謹んで新春のお慶びを申し上げます



新しい年、令和7年が始まりました。今年も一人ひとりの児童生徒が心新たに目標に向かっていけるように教育を進め、保護者の皆様と一緒に成長を喜べるような1年となることを心より願っております。

昨年は、パリ2024オリンピック・パラリンピックが開催され、小堀倭加選手(競泳)、坂井丞選手(飛込)、高市未来選手(柔道)など、本市中学校出身の選手たちが世界で活躍する姿に大きな感動を覚えました。中でも、吉沢恋選手が、スケートボード女子ストリートで華麗なトリックを決めて、見事に金メダルを獲得する姿は、72万市民をはじめ、世界に大きな感動を届けてくれました。吉沢選手は7歳の時、相模原市の小山公園で兄がスケートボードで滑る姿を見て「自分もやってみたい!」と競技への道を志し、それから毎日練習場へ通って努力を続けたそうです。

野球界では、大谷翔平選手が、1つのシーズンでホームラン50本、50盗塁以上の「50-50」を達成し、大リーグ史上初めての快挙となりました。大谷選手は高校時代に、目標達成シート「マンダラチャート」を活用し、自己分析することを毎日続けていたそうです。

私はこれらの選手の活躍を見て、夢に向かって挑戦することの素晴らしさを、あらためて感じました。これからも「子どもたちの夢や希望」を大切に、「日々のチャレンジ」を応援していきたいと思えます。

さて、今年の干支である巳は、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくイメージから、再生のシンボルとされています。また、「巳」を「実」にかけて、これまでの努力や準備が「実を結ぶ」年になるとも言われるようです。自分らしい生き方を実現するための力を身に付けるのにふさわしい年となるよう、ぜひお子様と一緒に、新しい年に挑戦することを話し合ってみてください。

### ～新年のスタートに、お子様と話をしましょう～

#### ① 新年の目標や将来の夢について話し合みましょう。

1年の目標や将来の夢について話し合ってみましょう。そのために今できることは何か、考えてみましょう。小さな目標の達成の積み重ねが自己肯定感を高めることにもつながります。

#### ② 生活習慣や学習習慣について話し合みましょう。

栄養バランスのとれた食事、規則的な生活リズム、家庭学習の習慣、テレビ・動画の視聴、ゲームやスマートフォンの適切な使い方などについて確認したり、話し合った内容に基づいたルールを作ったりするなど、生活習慣や学習習慣について、お子様と考えてみましょう。

相模原市教育委員会 教育長 鈴木 英之

